

平成28年度
事業報告書

前 文

- 1、 施設事業運営
- 2、 施設事業管理
- 3、 地域社会との関連
- 4、 会 計
- 5、 添付書類

平成29年5月26日

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人つくし会

理事長 細野 直人

保育園を取り巻く待機児童の問題はなかなか解決できず、常に社会問題とされて来ております。今年はこのに加えて保育士の待遇等について大きく取り上げられるようになりました。

平成27年度より保育士等の処遇改善が進められて来ましたが、本年度はより改善が進められましたが、来年度に向けては相変わらず保育士不足が続いております。

一方、社会福祉施設の不祥事が問題化し、管理体制等の強化が取り上げられました。そんな中で従来から導入が検討されておりました評議員会の設置が来年度までに実施されることになりました。

これに向けて評議員の人選及び事務手続きに追われた一年でありました。お陰様で新年度を迎える前に発足の準備が整いました。理事・監事の皆様には大変ご協力を賜りました事、心より厚く御礼申し上げます。

両施設については、田園保育園はあと数年で都道の建設が行われるにもかかわらず、移転に向かったの交渉は進展がありませんでした。

まなざし保育園では、開園当時から園庭の無い認可をいただき5年間保育を行ってまいりましたが、やはり少しでも園庭を広く子どもたちが元気良く遊べる面積が必要と感じ、色々と工夫や工事を行ったことで活動も従来より充実して来たかと実感しております。

両園ともお陰様で本年度保育においては概計画通り実施出来ました。また両施設においては事故無く一年を終了することが出来ました。

理事・監事の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と存じます。引き続き来年度もよろしくお願い申し上げます。

〈田園保育園〉

本年度は延べ園児数が792名で定員を少し越える状態で推移いたしました。しかし引き続き、4・5才児については定員割れの状態が続いております。

保育計画及び事業計画は、全職員が各担当の責務を果たし、且つ職員間の連携を密にし努力した結果、概達成することができました。

園内安全・安心も確保出来、園児にとって楽しい園生活が過ごせたことと存じます。

お陰様で大きな事故も無く、また保育上の問題も無く無事一年を終了することが出来ました。

〈まなざし保育園〉

本年度は延べ園児数1242名で、2・3・5歳児については定員を割る状態で推移いたしました。

保育計画及び事業計画は前年度の実績を検討しながら、全職員が各担当の責務を果たす一方、分野ごと会議等を持ち、職員間の意思疎通をより計ってまいり、概目標を達成出来ました。

また、今年度は園庭の代替として近隣公園を使用する機会が多くなり、他の利用団体等の間で問題も発生しましたが、話し合い等で解決出来、園児の安全・安心の確保が出来ました。

お陰様で一年間大きな事故も無く、無事終了出来ました。

《Ⅰ》田園保育園

1、施設事業運営

(1)児童の処遇

ア、園児

5クラスの編成で、4月より67名で年度を開始し、途中何人かの入・退園はありましたが、延べ人員は792名でした。

イ、健康管理

内科健診、歯科検診、日々の健康に関する教育等を通じ計画通り実行することができた。

ウ、栄養管理

給食の持つ意義を十分に職員が認識し、それにもとづき毎月、献立会議を開催し、計画、実行及び反省を積み重ねてきた。特に偏食、小食、アレルギー等について注意し、ご家庭と連絡を密にし、健康、体位の向上を計ってきた。

オ、保育

年齢に応じ、保育指針にしたがった年間保育、行事計画を実行する事が出来た。特に異年齢交流、園外保育及び年長の老人ホーム（地元 芙蓉園）に訪問をし、貴重な体験をした。

カ、安全管理

毎月の防災教育と避難訓練と関連設備の点検を実施した。また、交通安全についても訓練及び教育を行い、安全を確保することに、努めてきた。

(2)職員の処遇

ア、職員の構成

保育士2名を採用し、保育士11名、調理員2名、事務員1名で年度を開始した。平成28年10月31日に保育士1名が自己都合により退職した。平成28年2月28日から保育士1名が産前産後休業及び育児休業、平成29年3月31日に保育士3名が自己都合により退職した。

イ、健康管理

規定に基づいて検査項目の健康診断を全職員が実施することができた。

ウ、職員分担

園長、主任保育士、副主任保育士、クラス担任、調理、用務とそれぞれ分担し、業務を遂行した。

エ、職員会議

定例職員会議、献立会議及び職種別話し合いを随時行ってきた。

オ、研修報告

各職種にわたって、機会あるごとに各団体等の主催する研修に積極的に参加するように心がけ成果が見られた。園内研修も計画通り実施した。

カ、福利厚生

歓送迎会、忘年会等を計画通りに実施し、職員相互の親睦を計った。

(3)保護者との関わり

保育参観、保育説明会、個人面談等を計画通りに実施した。

2、施設事業管理

(1)事務関係

ア、会計事務、管理事務

経理規定、就業規則等の諸規定により処遇

処遇改善等加算により給与規定変更（勤務手当）

イ、児童処遇事務

（保育、給食、健康管理等）児童表、生活記録、保育計画、月案

個人月案、週案、保育日誌、個人日誌、出勤簿、連絡帳、献立表

カロリー計算表、実施記録、献立会議簿、栄養出納簿、健康診断簿、（内科、歯科、蛭虫、身体測定）の作成を行った。

(2)設備関係

漏水による園舎防水工事を行った。

(3)備品関係

ア、備品購入

固定資産分として、時計、スチームコンベクションを購入する。

イ、保育用品購入

保育用畳50枚、空気清浄機7台、各種紙製品を購入する。

(4)災害対策

ア、避難訓練

(一)予定通り毎月、火災、地震を交互にして行った。

- (二)園児引渡し訓練 年1回実施した。
- (三)総合火災訓練 年1回実施した。

イ、防災設備の保安点検

- (一)毎月初日を安全の日とし、園内外の安全チェックを行った。
- (二)消火器の点検補充
- (三)備蓄食品の購入

ウ、防災用品の設備

3、地域社会との関連

- (1)地域の小学校の運動会や子ども会の行事に参加した。
- (2)町内会の行事に参加し交流を深めた。
- (3)地域の人に保育園の行事に参加してもらった。
- (4)地域の老人施設との交流を行った。

4、会計 (決算書)
別 添

5、添付書類
決 算 書

《I》まなごし保育園

1、施設事業運営

(1)児童の処遇

ア、園児

6クラスの編成で、4月より100名で年度を開始し、途中何人かの入・退園はありましたが、延べ人員1242名でした。

イ、健康管理

内科健診、歯科検診、日々の健康に関する教育等を通じ計画通り実行することができた。

ウ、栄養管理

給食の持つ意義を十分に職員が認識し、それにもとづき毎月、献立会議を開催し、計画、実行及び反省を積み重ねてきた。特に偏食、小食、アレルギー等について注意し、ご家庭と連絡を密にし、健康、体位の向上を計ってきた。

エ、保育

園外保育及び幼児の老人施設（いろり）に訪問し、行事計画を実行する事が出来た。

オ、安全管理

毎月の防災教育と避難訓練と関連設備の点検を実施した。また、交通安全についても訓練及び教育を行い、安全を確保することに、努めてきた。

(2)職員の処遇

ア、職員の構成

保育士5名、栄養士1名を採用した。施設長1名、保育士19名、調理員5名で年度を開始し、平成28年6月30日に栄養士1名が自己都合により退職した。平成28年12月4日から保育士1名が産前産後休業及び育児休業、平成29年3月31日に保育士6名が自己都合により退職した。

イ、健康管理

規定に基づいて検査項目の健康診断を全職員が実施することができた。

ウ、職員分担

園長、主任保育士、副主任保育士、クラス担任、調理とそれぞれ分担し、業務を遂行した。

エ、職員会議

定例職員会議、献立会議及び職種別話し合いを随時行ってきた。

オ、研修報告

各職種にわたって、機会あるごとに各団体等の主催する研修に積極的に参加するように心がけ成果が見られた。園内研修も計画通り実施した。

カ、福利厚生

歓送迎会、忘年会等を計画通りに実施し、職員相互の親睦を計った。

(3)保護者との関わり

保育参観、保育説明会、個人面談等を計画通りに実施した。

2、施設事業管理

(1)事務関係

ア、会計事務、管理事務

経理規定、就業規則等の諸規定により処遇

処遇改善等加算により給与規定変更（勤務手当）

イ、児童処遇事務

（保育、給食、健康管理等）児童表、生活記録、保育計画、月案

個人月案、週案、保育日誌、個人日誌、出勤簿、連絡帳、献立表

カロリー計算表、実施記録、献立会議簿、栄養出納簿、健康診断簿、（内科、歯科、蛭虫、身体測定）の作成を行った。

(2)設備関係

砂場枠修理、避難用滑り台クッション取り付け、園舎改修工事、門扉廻り改修工事。

(3)備品関係

ア、備品購入

固定資産分として園名看板取り付け。

イ、保育用品購入

暖房畳30枚、空気清浄機4台、ロッカー、玩具類（積み木、砂場用品ほか）、保育材料類（画用紙、絵具、のり、絵本ほか）

(4)災害対策

ア、避難訓練

（一）予定通り毎月、火災、地震を交互にして行った。

(二)園児引渡し訓練 年1回実施した。

(三)総合火災訓練 年1回実施した。

イ、防災設備の保安点検

(一)毎月初日を安全の日とし、園内外の安全チェックを行った。

(二)消火器の点検補充

(三)備蓄食品の購入

ウ、防災用品の設備

3、地域社会との関連

(1)地域の小学校の運動会や子ども会の行事に参加した。

(夏祭り、運動会、おたのしみ会等)

(2)地域の老人施設との交流を行った。

4、会計 (決算書)

別 添

5、添付書類

決 算 書